



おやまだ

第 30 号

平成 22 年 3 月 20 日



広報30周年記念号

創刊号編集に関係された方々による座談会……… 小山田美術館・記念会館にて

人材育成の継続を

広報「おやまだ」が今年三十周年を迎えるに当たり、記念記事として創刊当時に編集に携わった方々による座談会を開催した。

昨年末、青山里会館の小山田美術館・記念会館の大広間をお借りして、和やかな雰囲気の中で、それぞれの思いを語り、無事収録することができた。創刊当時は、小山田小学校百周年を記念して、PTAを中心に各種の行事が実施されていたが、それに伴い体育振興会や子供会の活動も活性化していた。

また市側も出張所を市民センターに改築して、地域活動を増強する時期にあった。

このような状況の中で、出席の皆さんが中心となって広報が創刊され、その後の関係者の努力で今に引き継がれている。

今後継続していくためには、「小山田地区を元気にしよう」という、熱意のある人材の育成が、必要だと痛感した。

(文化広報部・山家多喜男)

主な内容

- | | |
|-----|---------------|
| P | |
| 2・3 | 特集「30周年記念座談会」 |
| 4・5 | おやまだトピックス |
| 6 | 市長の政策懇談会 |
| 7 | 小山田広場 |
| 8 | クイズコーナー 他 |

30周年記念 座談会

実施要項

- 日 時:平成21年12月7日(月)
:13:00~15:00
- 場 所:小山田美術館 記念会館 大広間
- 出席者(当時の役職)
中村 宜興氏(西陵中学校PTA副会長)
矢田 正廣氏(小山田小学校PTA会長)
萩 伸元氏
(広報編集委員、現・地区連合自治会長)
山家多喜男氏
(地区子供育成会会長、現・文化広報部副部長)

座談会メモ(敬称略)

司会(山家)

本日は、広報の三十周年記念号を編集するに当たり、創刊当時に直接編集に関係された方々にお集まりいただき、当時の状況や、苦労話などをお伺いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

なお、他にも関係された方が居られますが、編集部都合で省略させていただきますので、どうかご容赦願います。それでは、萩連合会長からご挨拶をお願いします。

挨拶(萩)

本日は、お忙しい中をお集まり頂き、有難うございました。

広報「おやまだ」も三十周年を迎えることとなり、今日お集まりの方々並びに地域の皆様のご支援のお陰と感謝しております。

今回文化広報部が、関係者による座談会を開催し、広報記念号に掲載することになりましたので、忌憚の無いご意見をお願いいたします。

今後地域発展のため、ご指導・ご支援をお願いいたします。

広報の概況説明

司会

はじめに「広報おやまだ」の概況を、ホームページ「おやまだ7」から、プロ

ジェクターを使って簡単に説明します。

広報の各号には、トップページ↓「広報おやまだ」を表示すれば各号全文、全巻目次、筆者目次等を検索することができます。

又、今回は表紙写真から各号へも検索できるようにした。

これらはパソコンを扱わない人には関係ないが、これからの若い人々には、小山田の記録としてぜひ活用してほしいと思っています。

それでは創刊号の巻頭言を執筆された中村氏から、お話を聞かせください。

創刊の頃をふり返って

中村

「おやまだの坂道は、自然の恵みである」は、当時も今もある意味では変わらないと思っているが、最近歩いて各町を回ってみたら、昔ながらの道は廃れて新しい道が多く、通りやすくなり激変に近い変化が見られた。

地域に密着した道路は、各町が独立した生活圏を持っていて、住民が主人公であった。閉鎖的で不便な面もあったが、今は機能が優先され車が主人公となっている。

特にミルクロードやフラワーロードの整備により、地域住民の通勤や買物は便利になったが、外部からの交通量の増加により、交通事故や治安の悪化が見られ、穏やかな地域の生活の連帯性を脅かしている。

これからは、小山田の良さを再認識しながら、外に向かって活動を広げる

意欲がほしいと思います。

また、医療・福祉面では、充実した施設がありますが、そのあたりの広地に文化・商業マーケットが必要な気がします。特に文化的な施設がほしいです。



司会

広報の創刊当時の地区の状況について、矢田氏にお願いします。

創刊時の地区の状況

矢田

昭和五十二年小山田小学校の百周年を記念として、「二〇〇年の歩み」、「同窓会名簿」を発刊した。私達が資料の収集に努め、中村氏が全てを執筆・編集された。

その秋に、地域ぐるみで百周年記念行事として体育大会を行った。その後、PTAで文化祭を行い、カラオケ大会などを取り入れ盛況だった。

百周年記念行事と前後して、子ども会にも鼓笛隊やサッカー少年団ができ、また、体育振興会などいくつかの団体・グループが活動するようになり、各種団体の連絡協議会も設立された。

その頃、四日市市は出張所から地区市民センターに改称し、従来の公民館活動を市民センターにおいた。

新市民センター完成を期に、地区の情勢を踏まえ広報づくりに取り組んだ。小山田小学校の百周年から広報創刊までの数年間、多くの方々と協力し合い活動したことは、よい思い出になった。

創刊号のメイン記事としては各種団体長による座談会で、「人と人とのふれあいを大切に」をテーマにそれぞれの思いが語られ、各町の昔話なども掲載された。また、「おやまだ」の字は、黒田敏彦さんをお願いした。

小山田の未来

「のびやかな小山田」

六年 三好 玉記

私は小山田の自然がいつばいあって静かな所が好きです。スーパ―も無いしバスも一時間に一本しかなくて、少し不便な所もあるけれど小山田は今のままでいてほしいです。

スーパ―や駅などが出来て、家が増えていき、自動車がたくさん通り、田んぼや自然が無くなっていくよりも、少しくらい不便でも田畑があつて森がある、静かでのびやかな小山田であつてほしいです。いつまでも。

今回三十周年を迎えることになり、今までの関係者のご苦勞に感謝するとともに、地区の財産としてこれからも継続してほしいと思つてゐる。

司会

創刊号から編集に関係された萩氏に、苦勞話などお願いします。

創刊当時の苦勞話など

萩

創刊号の表紙は、先に巻頭言の原稿が出来上がつていて、写真が後になつたので、坂道のある風景を市民センターの早川氏と探し歩いた。その結果六名町の西側の坂道となり、二人の老婦人と家並の屋根を背景に入れ、十枚ほど写したうちの一枚でした。

「のびやかな小山田」

五年 平山 葵子

私たちの小山田地区は自然豊でいい所です。

でもゴミが落ちてたりしていて気になります。それが未来できれいになつたらいいなと思ひました。登校中や下校中によくゴミを目にします。その事を友達などにひろめればみんな気をつけたり努力してくれると思います。そうやって小山田もだんだんきれいになつてきつと捨てていった人も気分がよくなつてくれると思います。

このように、小山田地区がだんだんきれいになつて、今よりもっと自然豊かになつてほしいです。

いろいろと写真や資料を集めるため、地区内を歩いたことが思い出される。

山家

私も当時は子ども会の世話をしていましたが、矢田氏の話のように父兄や先生方と共に、市内の催し物等にも参加して、活発に活動できたと思つてゐる。

また今は鹿間町老人会会長として、久し振りに地域活動に参画しているが、先日写真撮影のため椿大社に行ったら、鹿間町の老人会員が十名程来ており、何んで？と聞いてみたら、毎月一日参りをしていることが分かった。

これからの老人会の活動は、こうした個々の活動の積み重ねを大切に、進めていきたいと思う。

司会

この頃に郷土資料館がありました、矢田氏にお話を願ひます。

郷土資料館について

矢田

当時この地域では開発が進む中、家屋の新築で蔵を取り壊して、昔の家財道具や農機具を処分されることが多く、その中には郷土資料として残したい物もあり、PTAで集めて第一回の地区文化祭に展示した。

その後保管するため古い教室を借りていたが、それも取り壊すことになり、現在の小屋（旧用務室）に郷土資料館として保管することになった。

萩

最近雨漏りがするので屋根を修理

し、一部学校教材に利用できるものは本館に移動した。

司会

今までの皆さんのお話で、創刊当時は地域活動が活発化している時期であつたことが良く分かりました。

そこで今後の取組みについて、現役の萩氏からお願いします。

今後の取組みについて

萩

当時は、矢田氏を始め青年団や組合活動の経験者で、活動的なリーダーが何名かおられ、皆が積極的に参加協力して活動を盛上げていた。

現在も熱心に活動されている人がたくさんおられるが、これからは若い人々の意見も取り入れ、若手リーダーの育成に努めたい。

山家

私は現在ホームページの運営に関係しているが、これからはインターネットやメールを活用した広報も必要だと思つてゐる。

今後は「広報おやまだ」電子版としてホームページにコーナーを設置し、「おやまだ」を活性化するため」皆さんの意見交換の場にしたいと思う。

司会

お話もまとまつたようですので、これで座談会を終わらせていただきます。皆さんの熱意あるお話、ありがとうございました。

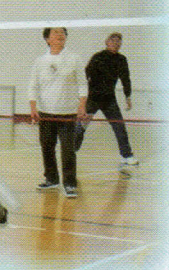
ピットピクチャー



文化祭

グラウンドゴルフ大会

講習会



同講座 楽とお話～



ふれあいフェスティバル



写真の焼増しを希望される方は団体事務局まで連絡してください。TEL 059-328-3320

おやまた

おめでとーございます

◇永年勤続市長表彰



〔自治会長〕
萩 伸元氏
〔五年・鹿間町〕

◇四日市市社会福祉大会



〔会長表彰〕
坂崎 司郎氏
〔鹿間町〕

◇四日市市長表彰



〔会長感謝〕
伊藤 進哉氏
〔山田町〕

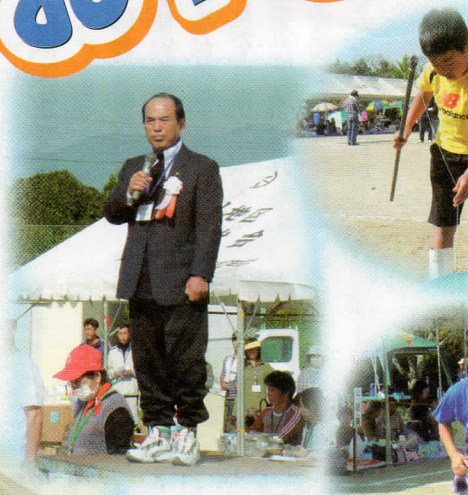
〔民生委員児童委員〕

矢田 俊巳氏 (内山町)

◇四日市市社会福祉協議会会長表彰

〔民生委員児童委員〕

緒方 悦子氏 (堂ヶ山町)



ニュースポーツ



運動会



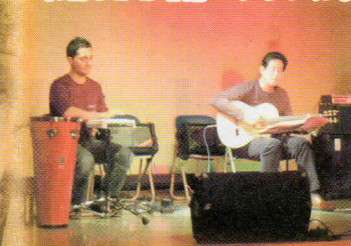
視察研修

阿武山学園 (大阪府高槻市)



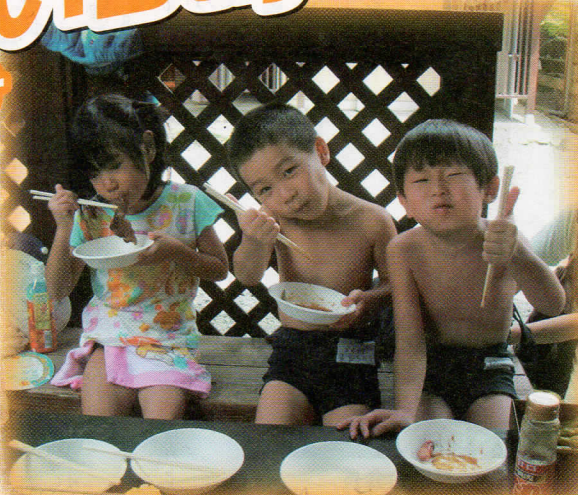
青少年・人権合

「虹のかけ橋」～ブラジル音



Tempo Feliz
(テンポ・フェリス)

親子ふれあいDay in グリーンランドあさけ



緑豊かな自然を
未来へ

安心な暮らしと魅力ある都市形成へ

市長の政策懇談会開く

新総合計画への反映を要望

四日市市自治会連合会と市の共催による「市長の政策懇談会」が昨年8月、市民センターで開かれました。各団体長が、地元の事情を直接市長に伝え、意見の交換をしました。要望は、新総合計画に反映されるようお願いしました。主な要旨はつぎのとおりです。

〔出席者〕 田中俊行市長、水越利幸教育長、藤井信雄政策推進、後藤正幸都市整備、原田秀十志商工農水の各部長ら幹部職員多数と地区市民センター・古川隆夫館長ら。

大瀧あずさ・四自連事務局。

清水正・山田、矢田定信・西山、里中俊雄・小山、加藤親彦・内山、佐野聖司・美里、平山克也・堂ヶ山、田中實雄・六名、辻俊治・和無田、萩伸元・鹿間の各町自治会長。

黒田隆治・民生児童委員協議会長、伊藤和久・小山田PTA会長、河合和司・西陵中PTA副会長。

要があれば見直しもします。

小山田は通学範囲が広く、地区の特性や一行政区に一小学校という現在の考え方で、地元の意見を伺いながら対応したいと思っています。

向山の動向に関心

問 清水・山田町自治会長



一九七〇年代から西南部の小山田地区はなかなか発展していない。もう少し良くならないかと思う。

ミルク道路沿いにサービスのなものが設置できるよう、開発には幅広い考えがほしい。向山区域(南部工業団地、ミルク道路の北側の開発がようやく動き出し、今後の動向に大きな関心を寄せている。

民間や地元が一生懸命に地区の発展を計画している時は、もっと早くスムーズに進む指導がほしい。

また、「北勢バイパス」の早期完成もぜひお願いしたい。

具体的な開発を協議中

答 後藤・都市整備部長



向山区域は、平成十年ころ、土地利用の相談を受けました。市は郊外の大規模商業開発は抑制する方針です。工業系企業立地が可能となるよう手続きも進めてきました。現在、事業者が具体的な開発計画をつくるため、施設管理者と道路や調整池など公共施設の協議を進めています。

また、足見川周辺地区では平成十一年十二月、大和開発へ三十万坪(九十五ヘクタール)の開発の許可が下りていますが、資金繰りで、全く着手されていません。三年ほど前、「極力地域に迷惑をかけず、再開発したい」との返答もあり、もう少し進捗を見守りたい。

小山田地区は自然共生ゾーンに位置づけ、緑豊かな自然あふれる環境は、重要な資産です。農業の振興や、開発を防止することで、これらを未来に伝えていくことも重要です。

北勢バイパスは、二十二年春には、北の大矢知地区垂坂町のハイテク工業団地入口まで整備が完了する予定です。一方、工事は、北からだけではなく、南からも着手してほしいと、連合自治会で署名をしていたとき、市も喜んでいました。

農用地の除外手続を準備中

答 原田・商工農水部長



向山区域は、工業用途への開発が可能な地域です。いま、工業用途への開発に向けて、農用地除外の手続を準備中です。

しかし、集団的にまとまった農地は原則的に農業以外の転用はできません。農産物の価格が非常に安く、遊休農地が増えています。今後ともいろいろな手法で農業の活性化を図ると共に、工業、農業、商業をバランスのとれた形にして行こうと思っています。

〓 文責 萩 伸元 〓

市長総合計画策定を解説



あいさつする市長 右が藤井部長

田中市長は総合計画策定を、プロジェクトを使い映像でわかりやすく解説。みんなが誇りの持てる新しいまちづくりを目指し①文化とスポーツで元気に ②魅力ある都市形成 ③災害に強い、安心な暮らし、などを力説されました。



推移を見て地元の意見を伺う
答 水越・教育長

今すぐ統合の議論が進んでいる状況ではありません。高花平小において当初より児童数の減少に鈍化が見られ、現段階では、推移を見守りつつ、必



内山町の児童十一名は、遠距離で小山田小から高花平小への通学が認められています。両小との統合について教育長の見解を聞きたい。

小山田小と高花平小との統合
問 加藤・内山町自治会長



小山田の発展を市長に要望する萩連合会長

小山田広場



待てど暮らせど

山田町 清水 延和

私の家ではネコを一匹飼っている。ココアと名付けて可愛がっているのだが、家の中ばかりで飼っているのも、雨も、風も、雪も、外のことは全く知らないネコである。

ところでこのところ、私どもは全くついてない。私はもちろん、妻も高齢なので身体のおちこちが悪くなり、さながら競争のように病院へ行くので、薬とは縁が切れず、その一方ではお金とは全く縁が無いという生活を送っている。

それじゃたまらん。私はココアに

「ココアよ。ネコには招き猫といって、幸せを招き寄せる縁起の良いネコがいるという。ココアもネコなんだから、たまには何か幸せを呼んでこいよ。」と言うのだが、ココアはニヤンとも言わずにキャットンとして

いる。

(キョトンをキャットンとしやれたつもりだが、これは苦しいな) ところで平成十八年三月の本紙に、私はふくろうの話を書かせていただいている。

ふくろうを漢字で書けば「梟」だが、他に「福郎」、「富来郎」、「不苦勞」とも書けるので、なんとかそれにありつきたいと、ふくろうのコレクションに夢中になり、でっかい幸せが来るのを待っているという話なのだが、もうあれから四年。待てど暮らせど何の音沙汰もない。

こんなことを書いてボヤいていたら、どこかでふくろうの鳴く声がしたように思った。

「ホウ、ホウ」。つくり物のふくろうでは、どう仕様もないのであろうか。

哲学とは、真つ暗な部屋で、黒い帽子を探すようなもの、とどこかで読んだことがある。

人生もまた、そのようなものかもしれない!

郷土史愛好会の活動紹介

愛好会世話人

一昨年、地区のホームページを開設する際に、地区の歴史や

遺跡の資料等を調査・収集したが、予想以上に資料が設備されているのに驚き、これらの資料を活用して地域の活性化に結び付けるため、昨年四月に郷土史に興味のある人々による愛好会を設立した。

六月二十六日に、地区のメインテーマ「矢田監物」について、山田町安性寺・竹内住職を講師に第一回の歴史講演会を開催した。



「矢田監物」とは、各地で武

将が勢力争いを続けていた戦国時代、十二代將軍足利義晴の家来であった矢田監物は、一五五〇年頃に主君を失い、家族と家来を引き連れ安住の地を探し求めてさまよい、小山田の地に留まった。

その後加富神社から田畑を与えられ押領使として山田城を築

き、主君の菩提を弔うため長谷山万松寺を造立し、十一面観音像を安置した。

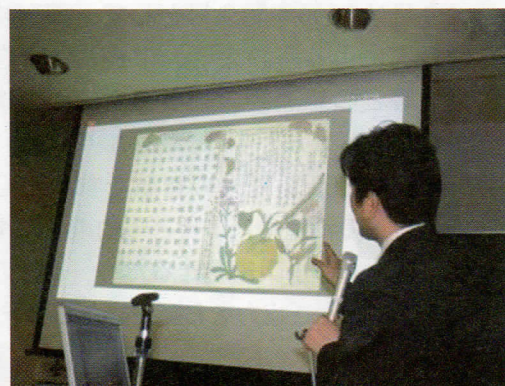
今後は、地域外・県外を含めて、「矢田監物」の存在を裏付ける資料を調査することで、地区の歴史の掘り起こしに弾みを付けたいと思っている。

次は夏休み期間中に四日市市博物館が、西山町出身の「鎌井松石の昆虫図」の特別展示を開催したことで、改めて郷土の偉人「鎌井松石」を見直すこととなった。

「鎌井松石」は一八一六年に現在の鈴鹿市神戸町に生まれ、十五歳から京都で漢方医学の修行をし、一八四五年から現在の当地区西山町に移住し、医業を営みながら私塾を開き子弟の教育に努めた。

一方、動植物の採取・調査のため山間幽谷を巡り、目に付いたものは得意の筆で模写し、名勝旧跡を実践査察して来歴を探索すること四十年に及んだ。著した稿本は極めて多く、一部の研究成果は文部省に献納され、その他の資料は現在四日市市博物館に寄贈された。

十一月六日、「鎌井松石の人と業績」について、四日市市博物館の学芸員・廣瀬毅氏を講師に第二回歴史講演会を開催した。



今後は小山田地区が誇る偉人として、履歴・活動歴や著書、絵図・表などを、地区内の適正な場所に展示していきたいと思っている。

絵手紙サークル



矢田 洋子

加藤 卓代

田中 あき子

『おやまだ電子版』開設について

「広報おやまだ」が30周年を迎えたのを機会に、メールやインターネットを活用した広報活動を実施したいと思います。

そこで、地区の皆さん、特に若い世代の皆さんのアイデアや、意見を取り入れて運営したいと思いますので、ご支援とご協力をお願いします。

実施要項(案)

1. ホームページトップに、「おやまだ電子版」のアイコンを設定する。
2. 「電子版」のページにリンクし、行事案内や意見募集等を行う。
3. 「電子版」での意見交換は、原則として地区住民又は地区内就業者を対象とし、初回投稿時に住所・氏名等を確認し、会員登録する。
4. メールの窓口は、ホームページ内のご意見窓口(goikenn@oyamada3320sakura.ne.jp)とする。
5. 寄せられたご意見等は、運営委員会が内容を確認して、最小限の修正の後に電子版ページに会員番号で公開する。

和無田町ふれあい

和無田町 和泉 悦子

11月29日、ふれあいがあった。
防災訓練、花植え、子ども会の通学路の清掃、ジュース缶等、子ども達がどんな思いで拾ったか、大人のマナーの悪さに恥ずかしく思った。



野菜、果物の販売、味御飯、ぜんざい、そば等、手づくりの味を頂いた。
若者への世代交替も感じ、地の味がしっかり出ていて嬉しく思った。

歌謡ショー、マジックショー、くじ引きもあり、地域との付き合いが薄れたといわれている中、子どもから大人までがふれあうことができ、このふれあいが一つのまちづくりになればと思う。

支え合いの大切さを学んだ一日であった。

おやまだクイズ チャレンジ!!

①特集「30周年記念座談会」

創刊号の巻頭言に書いてあった、「おやまだの〇〇は、自然の恵みである」の〇〇は何?

②おやまだトピックス

青少年・人権合同講座で、ブラジル音楽とお話してくれたグループの名まえは何?

③小山田広場

山田町の清水さんが飼っているネコの名まえは、何?

応募方法

自分で作った用紙に、住所・氏名・答えを記入し市民センター入口の応募箱に入れて下さい。

☆締め切り 4月30日(金)

☆正解者の中から抽選で10名に図書カード(500円分)が当たります。

☆当選者は賞品の発送をもってお知らせします。



夜を徹して燃えるどんど焼き
(久間田神社で)

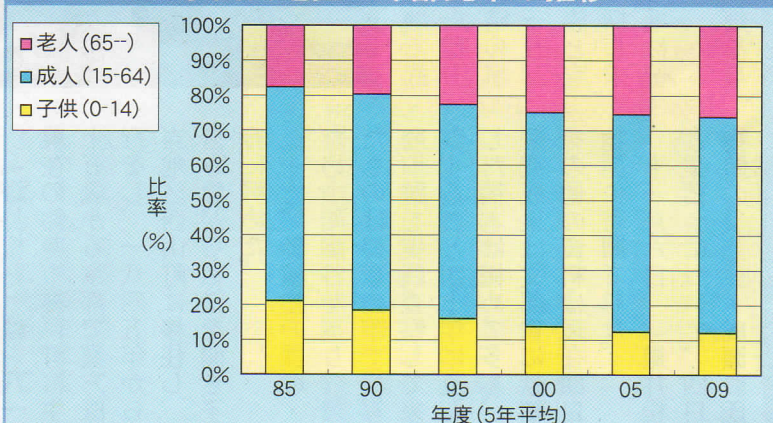
どんど焼き

鹿間町自治会

副会長 加藤 正俊

鹿間町自治会は、元旦久間田神社での“どんど焼き”で初詣客を迎えました。気温は、氷点下と凍てつき、温かい甘酒を振舞い好評でした。

小山田地区 年齢比率の推移



地区の人口

(平成22年1月1日現在)

通称町名 (小山田)	世帯数	人 口		
		総数(人)	男(人)	女(人)
内 山 町	58	177	85	92
小 山 町	178	507	256	251
鹿 間 町	291	812	395	417
堂ヶ山町	139	460	218	242
西 山 町	229	676	327	349
美 里 町	58	170	86	84
山 田 町	738	1,670	746	924
六 名 町	55	158	83	75
和無田町	120	368	182	186
合 計	1,866	4,998	2,378	2,620

あとがき

今号は30周年記念号として、創刊時の関係者による座談会と、市長と連合自治会長等との懇談会の記事を主体に編集しました。

「温故知新」先人の智慧を参考にし、子ども達の希望や、市長との約束を踏まえて、活力ある小山田を作るため、皆様の一層のご支援とご協力をお願いいたします。

(文化広報部・北尾喜子)